



第1050号
2007年9月30日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

▽牛込聖公会聖バルナバ教会
パイプオルガン演奏会 日本では数少ないミーントーン調律の響きを深井李々子(東京ルーテル教会他オルガニスト)の演奏で、10月13日(土) 19時開演。入場料2千5百円。収益から女性の家HELIPの働きへ。照会 Ⅲ03(3268)8067。

▽教区聖歌隊がカトリック教会で演奏 ローマ法王庁大使館や毎日新聞社などの後援により、登録有形文化財指定カトリック神田教会(1928年竣工)で10月18日(木) 19時から開かれる「文化財と古楽コンサート(レクチャー付)」に、教区聖歌隊(指揮Ⅱ那須輝彦・OrⅡ佐々木順子)が出演する。当日が福音記者聖ルカ日に当たる

今週・来週の予定

9月30日~10月13日

- 30(日) 聖霊降臨後第18主日
主教巡回 月島聖公会
下町G教会協議会(神愛)
- 10月
 - 1(月) 幼稚園委員会
 - 2(火) エルサレム教区協働委員会
教財務サービス委員会
 - 3(水) 信徒講座=塚田理司祭
(聖バルナバ)
 - 4(木) 主教巡回 聖フランシス・
聖エリザベス礼拝堂
 - 5(金) 広報委員会
聖職試験委員会
教区企画室
フェスティバル実行委員会
 - 7(日) 聖霊降臨後第19主日
主教巡回 聖ミカエル教会
 - 9(火) 銀座朝拝会
常置委員会
 - 10(水) 正義と平和協議会運営委員会
 - 11(木) 人権委員会

め聖ルカに因んだ演奏も…。照
会・申込みは主催者・同コン
サート実行委員会宛、Ⅲ03(6
715)7801。料金3千円
(申込制・列席指定)、定員2百
人(先着順)。会場は西神田1丁
目、水道橋駅東口・神保町駅よ
り各徒歩7分程度。

◇秋のバザー(1) ▽10月
7日Ⅱ聖アグネス教会(10時~
14時) ▽14日Ⅱ聖十字教会(12
時~15時)・真光教会(11時~
14時)
*教区フェスティバルでの忘
れ物 花柄ショールなど、心あ
たりの方は教区事務所宛に。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

この夏、卒業してから初めて中学の同窓

会が開かれ、帰郷ついでに参加をいたしました。皆大いに変わっているものかと期待に胸を膨らませていましたが、私も含め典型的な変化があった者は若干名いたものの、当時の恩師、同級生共々、基本は何も変わっておらず、あの意味驚きを感じました。

《恵みに生かされて》

恩師の言葉

箱田澄雄

恩師とも懐かしい授業の話になり、当時は振り返りながら話をしていると、ふと気づかされることがありました。恩師は常に「何故そう思ったの？」が口癖で、いつも第六感で答えを出していた私には頭の痛い存在でした。しかし、現在社会人として日々仕事の中で起こった様々な問題を解決する際、報告する上司も恩師と全く同じ言い

回しをするのです。

この時、今まで問題を解決してこれたのも、決して自分一人で成し遂げられたのではなく、恩師からの「学ぶことに対し食欲であれ」という教えの積み重ねがあったからこそ、成したものののだと思わされました。当時の自分を振り返ると、決して師の教えに応えられていたとは思えません。そんなにも良き師に出会い、学べたことは何よりの恵みであったと思います。

箱田澄雄

これから先、何時も、このような周りの人々の教えや支え―即ち、神からいただいた恵みによって、今は立ち向かえないように見える大きな問題も、立ち向かっていけるのだと思います。

(聖パトリック教会信徒)

共に祈り、共に食べへ：

教区フェスティバル閉幕

この24日(月・休)、立教小学校を会場に07年教区フェスティバルが開催された。司祭笹森田鶴実行委員長のもと、「開く・信じる・あじ食べる」をテーマに、約9百人の参加者が共に祈り、共に食べ、開かれた豊かな交わりの時を過ごした。

礼拝は収容数の関係で講堂と

礼拝堂の2ヶ所に分かれ、講堂は植田仁太郎教区主教の司式説教、礼拝堂は大畑喜道司祭の司式で運ばれた。説教は音声で礼拝堂にも流され、同時に傾聴した。説教で主教は、「復活のイエスが弟子たちと魚を焼いて食べた。イエスにとって共に食事をすることは大事なこと」に触

の食事、愛を分かち合う食事」

によって成長させられていくことを願う」と結んだ。

午後のイベントでは、前夜の「にぎら☆ナイト」に約40人が池袋聖公会に集まり、4時間半かけて握った千個の「おにぎり」やその他の食事を食べながら、約50の教会・団体が賑やかに並べた出店・出展を楽しんだ。

また、子どもたちのヒップ・ホップ・ダンスでは大人たちも汗をかいて共に踊り、民族ダンス、ゲーム、ビンゴ大会など楽しいひとときを過ごした。15時過ぎ閉会。

当日さげられた信施は61万5千百75円、献米は約百キロで、それぞれ所定の奉献先(8施設・働き)へ届けられる。

公 示

日本聖公会東京教区第105(定期)
教区会を下記のように招集します。

教主降生 2007年9月10日

日本聖公会東京教区
教区会議長
主教 ペテロ 植田仁太郎

記

日 時 2007年11月23日(金・休)
午前9時から午後3時まで
場 所 開会聖餐式

聖アンデレ主教座聖堂
議場 聖アンデレホール
東京都港区芝公園3-6-18

書記を次のように任命する。
司祭 グレース神崎 和子
司祭 ハンナ 石坂みゑ子
以上

れ、そして
フライピンで
経験した貧し
い砂糖黍畑を
もつ一家とし
た食事のエピ
ソードを語り、「私たち共
同体が『和解
の食事、赦し

【学びと働きから】56

管区・憲法プロジェクト

憲法プロジェクトは、日本聖公会正義と平和委員会の働きの一つとして今年4月に発足しました。このプロジェクトでは、いま変えられようとしている憲法9条と、聖書を通してイエスが私たちに示しておられる救いと平和(福音)との結びつきを全国の聖公会信徒の皆さんと共に真剣に考え、分かち合いたいと願っています。

そこで、活動の初めとして、講演会「福音と平和憲法」(9月1日・聖アンデレ教会)を開き、講師に、憲法9条を守るため努力しておられるカトリック教会の松浦吾郎司教をお迎えし

ました。

『私たちの周りにはいじめに
対して見ぬふりをする傾向や、
敵に銃を向けることをためらわ
ない訓練を受ける兵士たち、巨
大な資本を求めて戦争をしよう
とする人々、などの現実を目の
当たりにしていますが、これら
は非人間化のプロセスです。

それでは、この社会にあつて
私たちは教会を何と捉えるので
しょうか。教会は岩——この世
界は悪がいつばいなのでここへ
逃げ込めば救われる、世の中と
教会は別々、神と私だけの関係
でよい——なのでしょうか。私
は、教会を「旅する教会」と捉

えます。この世界で神との壊れ
た関係が回復され、互いに愛し
あう関係(神の国)が実現する

時に向かつて教会は旅をしてい
ます。そのためにイエスは今も
働いておられ、私たちはこの働
きに共に参加しているのです。

信仰に生きる(神との関係の
中で生きる)とは、「日々の生活
にあつての具体的な事柄への選
び取りと、分かち合い」です。

「憲法について教会で話すの
は政治の問題だからやめよう」
との声もあるでしょう。しか
し、主によって日常へと「派遣」
される私たち、命と平和が脅か
されようとする時、もつと対話
し、御心にながら選り取りをし
て下さい。』と、百数人の聴衆に
熱く語って下さいました。

同プロジェクト委員

関 澄 子

(小金井聖公会)